

保護者の皆様

仙台市立根白石小学校
校長 森 直

令和元年度 学校運営に関する評価の結果と考察

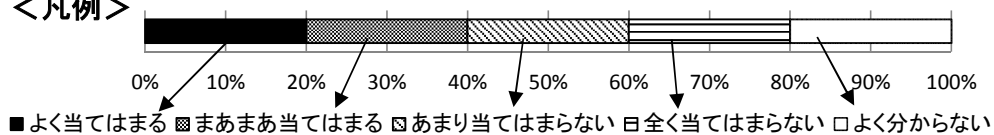
早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました令和元年度の学校運営に対する保護者アンケートに、たくさんの保護者の方々にご協力をいただき、ありがとうございます。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童の生活アンケート・教職員の自己評価、また、一部の項目については地域の方々からいただいた評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見えてきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしていきます。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

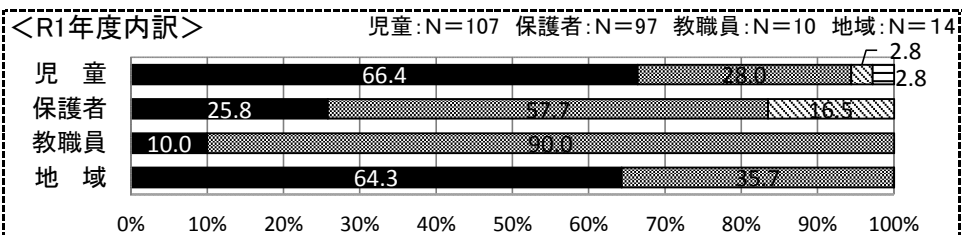
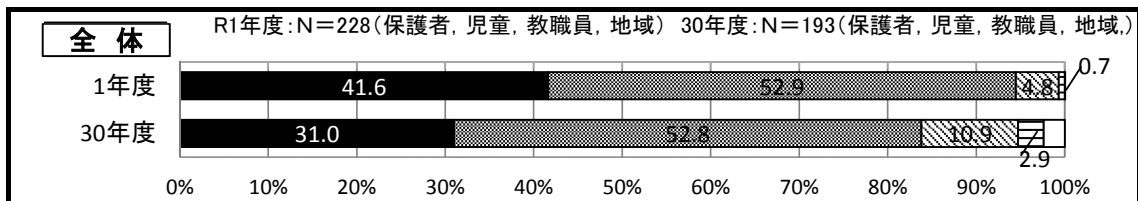
★ 各グラフの標記については、下の凡例を参考にしてください。

<凡例>

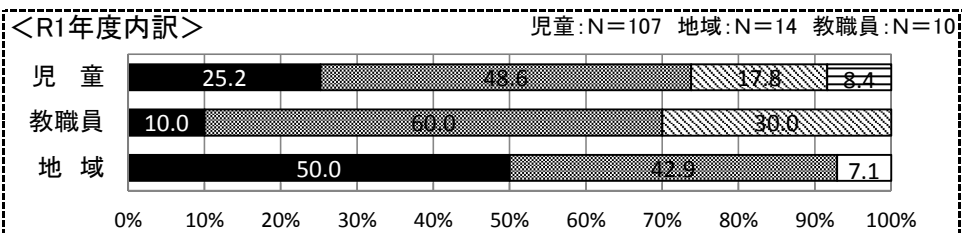
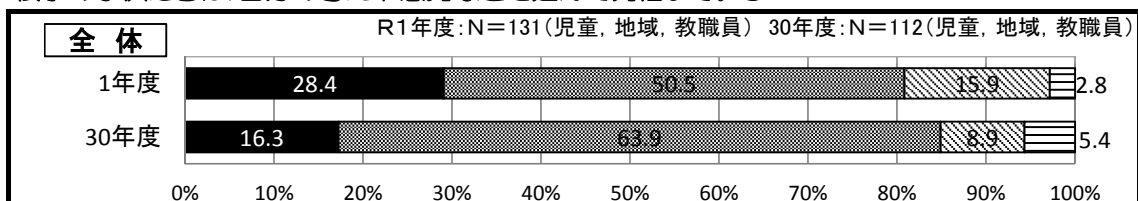


1 重点目標について

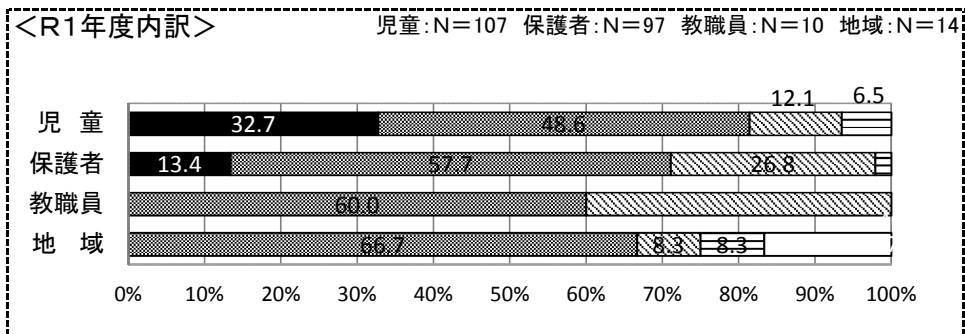
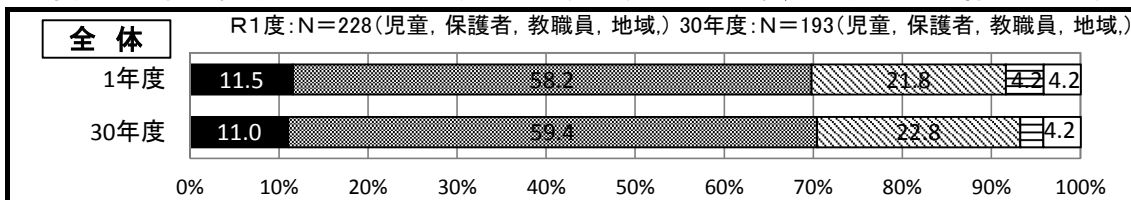
① 根小の子供は、相手の話をしっかりと聴いている。



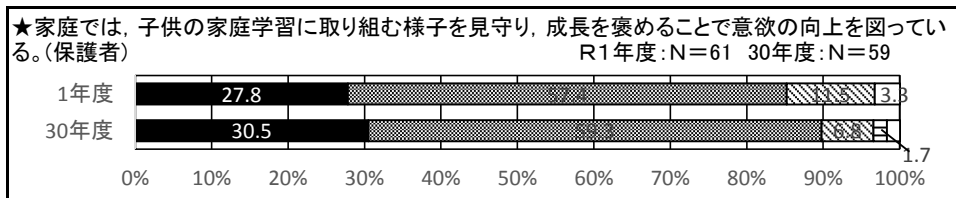
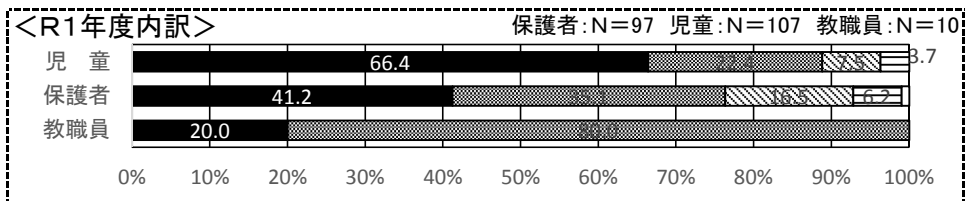
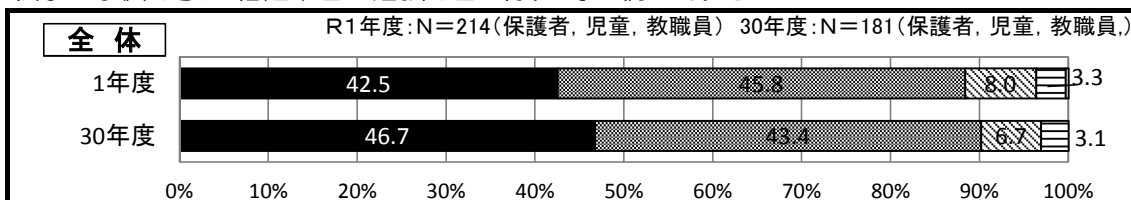
② 根小の子供たちは、自分の考えや意見などを進んで発信している。



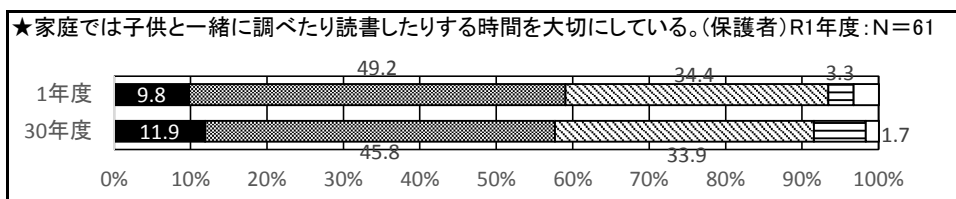
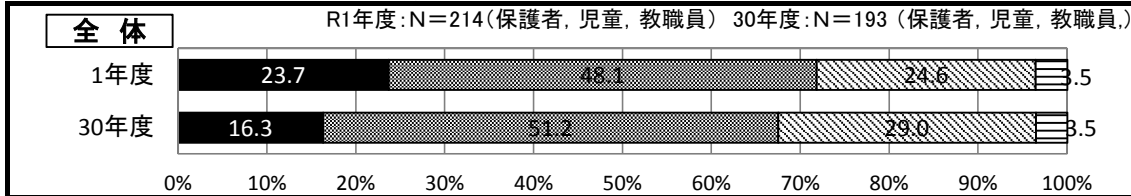
③ 根小の子供は、伝えたいことがよく分かるように考えをまとめ、表現を工夫して話している。



④ 根小の子供たちは、宿題や自主勉強を自ら行い、毎日続けている。



⑤ 根小の子供たちは、分からない事柄や言葉を自分で調べようとしている。



<話をしっかり聴く><自分の考えを伝える><表現を工夫する>

今年度の重点目標の一つは「相手の話を受けて、自分の意見を分かりやすく伝えることができる子供の育成」でした。今年度も、「聴く」と言うことはただ聞くのではなく、目と心を合わせてしっかり聴くなどを指導しました。項目①「相手の話をしっかり聴いている。」は、約95%の回答者が「おおむね良好」と答え、昨年度よりも10%以上高い割合となりました。相手の話を聴く姿勢はしっかり身に付いてきていることが伺えます。

項目②「自分の考えや意見などを進んで発信している。」では、約8割の回答者が「おおむね良好」と答えています。児童の内訳を見ると、低・中学年では、80%近くの児童が「おおむね良好」と答えておりますが、高学年の3人に1人が「当てはまらない」と否定的な回答をしています。恥ずかしさのせいもあると思いますが、「高学年児童が進んで発表する姿が低・中学年の見本となる」ということを、機会を捉えて声掛け・指導してまいります。また、項目③「伝えたいことがよく分かるように表現を工夫している。」に対しては、約7割が「おおむね良好」の回答でした。進んで話そうとする児童は多いのですが、表現を工夫している児童の割合は昨年度同様少ないようです。今年度も、コミュニケーション力の向上を目指し、校内研究を中心にしながらも様々な場面で相手を意識した分かりやすい表現を工夫し、話したり伝えたりできるよう指導してきました。

今年度の成果と課題を踏まえ、次年度も引き続き校内研究のテーマと関連させながら指導を継続していきたいと思えます。

(*「おおむね良好」「当てはまる」の評価は、「よく当てはまる」と「まあまあ当てはまる」を合わせた評価です。*「当てはまらない」の評価は、「あまり当てはまらない」と「全く当てはまらない」を合わせた評価です。)

<宿題や自主学習を続けている><分からないことを自分で調べる>

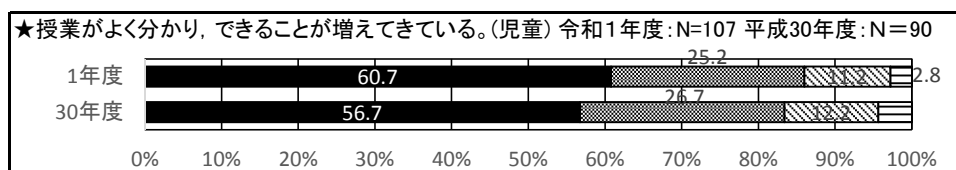
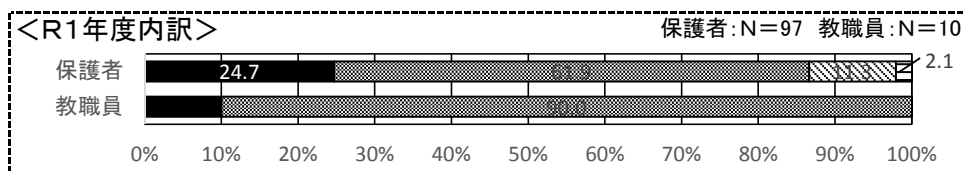
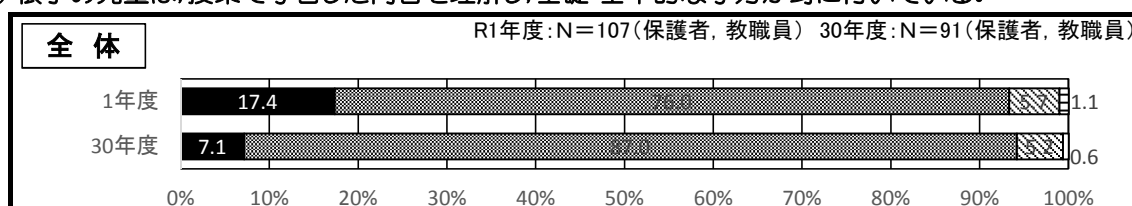
今年度のもう一つの重点目標は「自分から進んで学習課題に取り組む子供の育成」でした。項目④を見ると、家庭学習は約9割の児童が定着しているようです。学校からの宿題だけでなく、自主学習をする児童も増えてきており、家庭学習の質としての高まりも感じます。★「子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。」に「当てはまる」と回答した家庭の割合は約85%で、家庭の見守りや励ましが、児童の家庭学習を支える大きな力となっているようです。引き続きご協力をお願いいたします。

また、項目⑤「分からないことを自分で調べている。」では、7割以上の回答者の方が「当てはまる」と回答しています。児童の回答について見てみますと、今年は80%近くの児童が「当てはまる」と回答しており、昨年より約10%高い数値となっております。今年度は、図書室の本の貸し出し冊数が昨年度よりも増え、児童が図書室を利用する機会が多くなったことが数値が上がった要因の一つであると考えられます。

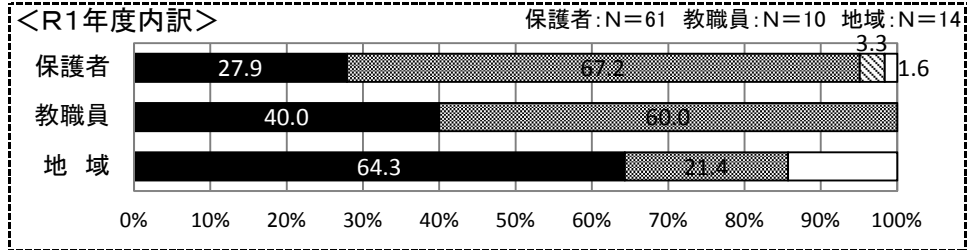
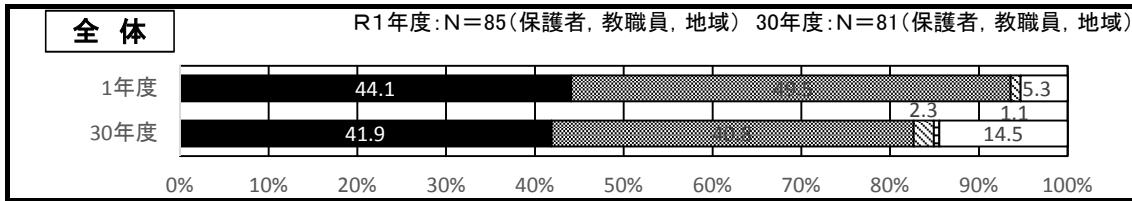
これからも引き続き、疑問をそのままにせず図書やインターネットなど多様なものを使い、自ら調べられるよう調べ方についても指導していきたいと思えます。

2 「笑顔あふれる楽しい学校」「いじめのない温かい学校」について

⑥ 根小の児童は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。



⑦ 根白石小学校は、児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。



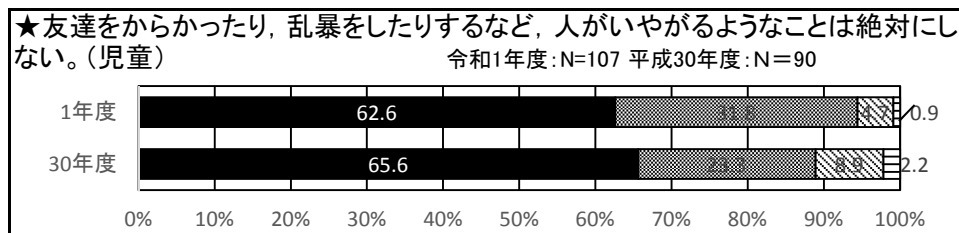
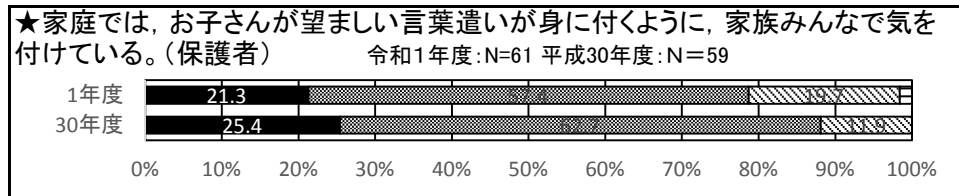
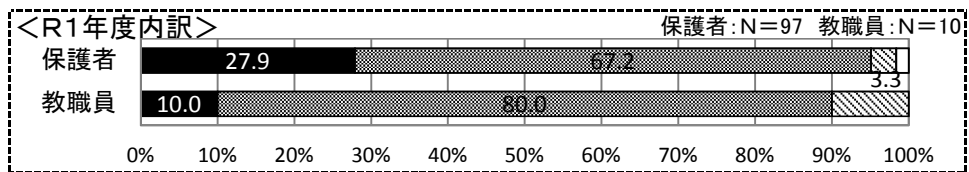
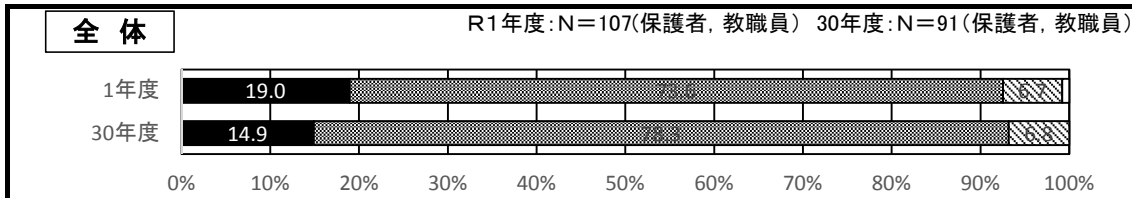
<基礎的・基本的な知識・技能の習得と指導の工夫>

項目⑥「根小の子供は、授業がよく分かり、できることが増えてきている。」では、昨年度と同様、9割以上の回答者が「当てはまる」と答えています。★「授業がよく分かりできることが増えてきている。」に「当てはまる」と回答した児童は約86%で昨年より高い数値となっており、分かる喜びやできる楽しさを感じている児童が昨年度より増えたことがうかがえます。

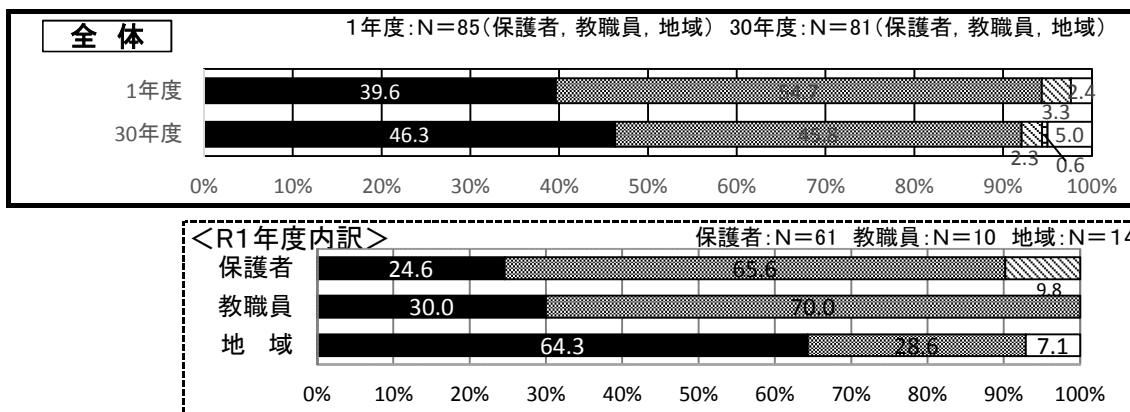
項目⑦「学校は児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる指導の工夫・改善に努めている。」では、95%近くの回答者が「当てはまる」と答えており、高い数値となっております。学校として取り組んでいることが地域や保護者の皆様にもご理解いただけた結果と受け止め、大変うれしく思っております。

学校では、次年度も引き続き、指導の工夫・改善を進め、一人一人によく分かる授業を提供できるよう努めてまいります。

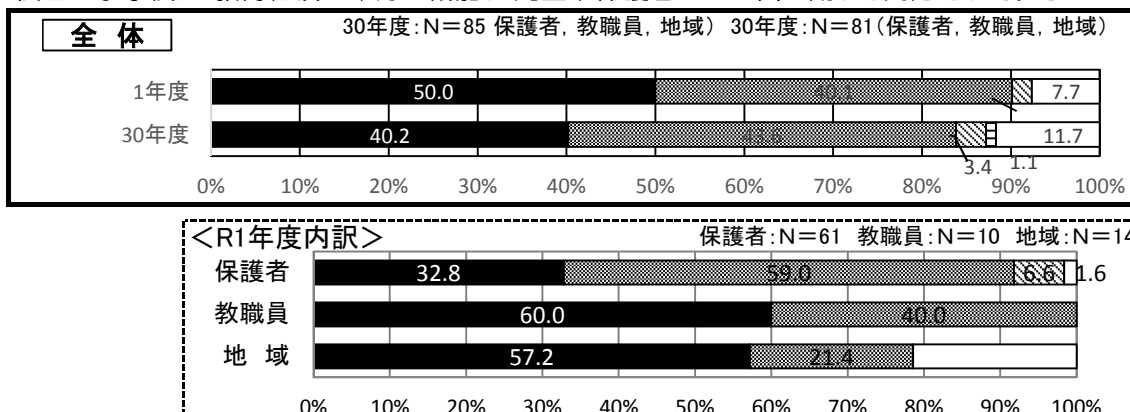
⑧ 根小の児童は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。



⑨ 根白石小学校は、いじめのない人間関係づくりに努めている。



⑩ 根白石小学校は、教育相談が十分に機能し、児童や保護者のニーズに則した対応をしている。



<思いやりのある言葉遣い、行動>

項目⑧「根小の子供は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。」では、回答者の9割強が「当てはまる」と答えています。「よく当てはまる」の割合も、昨年度と比べ、5%ほど増えました。また、★「友達をからかったり、乱暴をしたりするなど、人がいやがるようなことは絶対にしない。」の質問に対して、約95%の児童が「当てはまる」と答え、昨年より約5%高い数値となっております。ほとんどの児童が、思いやりのある行動を意識し、人が嫌がることをしないよう心掛けて生活している成果と考えられます。次年度も引き続き、学校・家庭・地域が連携して子供たちの指導に当たっていきたいと思います。

<いじめのない人間関係づくり> <教育相談とニーズに則した対応>

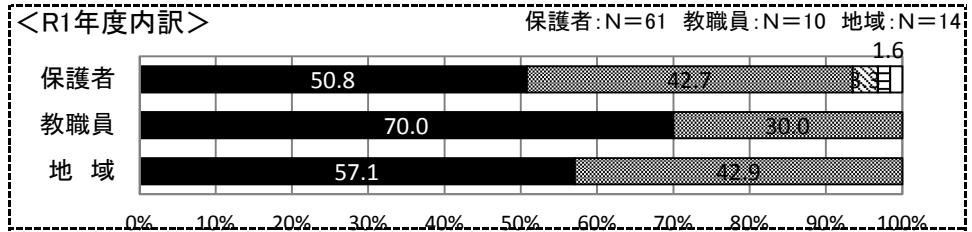
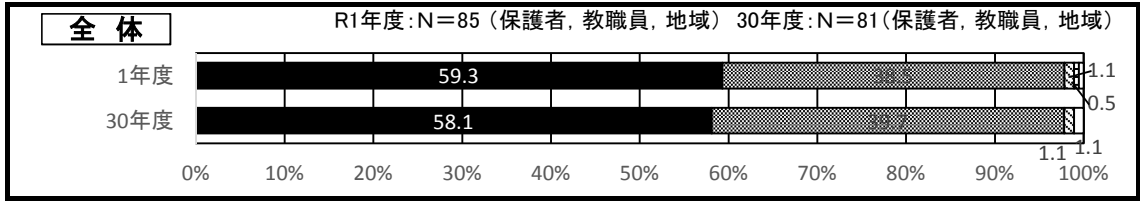
項目⑨の「いじめのない人間関係づくり」については、約95%の回答者が「おおむね良好」と評価しました。学校は児童にとって自分の居場所があり、安心して生活できる場でなければなりません。今後も、子供たちが互いの良さを認め合い、一人一人が持てる力を十分発揮できるような温かな学級・学校づくりを一層推し進めます。また、今年度作成しました「根白石小学校いじめ対策基本方針」は、機会あるごとに見直しまいります。ご意見等がある場合は、学校までお聞かせ願います。

項目⑩の「教育相談とニーズに則した対応」については、「おおむね良好」という割合が約90%となり、回答者の半数が「よく当てはまる」という評価をしております。学校としての対応に力を入れていることをご理解いただければ、うれしい限りです。来年度も、引き続き、お子さんや保護者の皆様の悩みをうかがい、一緒に考え、共に取り組んでいきたいと思っております。より相談しやすい学校を目指し、日頃から児童や保護者の方との信頼関係の構築に努めたいと思っております。

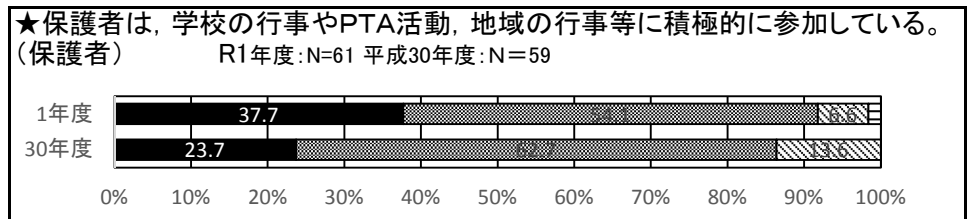
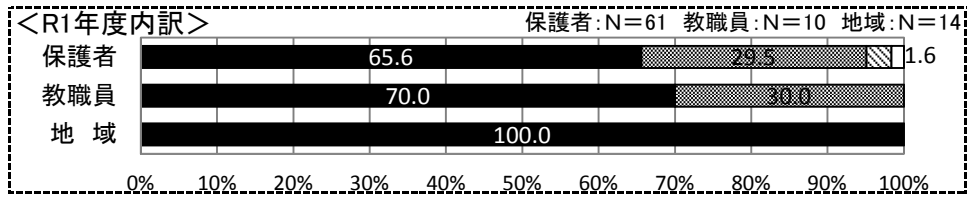
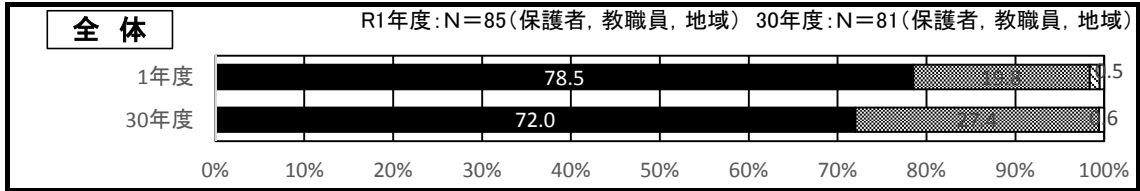
教育相談の学校の窓口は教頭ですが、教頭以外の担任や養護教諭や特別支援コーディネーターにお伝えいただいても結構です。また、本校の教員だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関との相談もできますので、いつでもお声掛けいただきたいと思います。

3 地域と共に歩む学校

⑪ 根白石小学校は、教育方針や教育活動について、保護者や地域に分かりやすく伝えている。



⑫ 根白石小学校は、行事などの教育活動を通し、各団体(PTA, 育成会, アセ踊り保存会, 市民センターなど)との連携を図り、地域に開かれた学校づくりに努めている。



<分かりやすい情報発信>

学校の教育方針や児童の活動の様子を文書やお便りだけではなく、PTA総会や懇談会などの機会を利用してお伝えしました。また、学校HPのブログもより更新回数を増やし、タイムリーな情報を発信し、多くの方から閲覧いただいています。その成果もあり、項目⑪の「教育方針や教育活動等の分かりやすい情報発信」については、約98パーセントの回答者が「おおむね良好」と評価されました。そのうちの約60%の方が「とてもよく当てはまる」と回答しております。次年度も保護者や地域の方々に分かりやすい情報、楽しんで見ていただける情報の発信に努めます。また、緊急の場合には、一斉メール配信も行い、迅速に対応してまいります。

<地域に開かれた学校づくり>

項目⑫「地域に開かれた学校」に関しては、毎年、非常に高い評価をいただいています。今年は、「とても当てはまる」と回答した方が、地域で100%であり、全体でも昨年度より更に6%以上高い78.5%の数値となっております。根小は様々なボランティアの皆様のご協力をいただいているだけではなく、地域ぐるみで教育活動を支援していただいている幸せな学校です。お陰さまで、学校の中だけではできない豊かな活動に取り組んだり、学校で学んだことを地域で生かしたりすることができました。次年度も、より一層学校と地域の連携を深めてまいります。また、校外での子供の活躍を応援し、指導にも役立てるため、できる範囲で教職員が地域の行事等に参加したり、参観したりしたいと思っております。

令和元年度 第3回学校評議員会・学校関係者評価委員会
(令和2年1月30日開催)での各委員の皆様からの提言や感想です。

[学校評議員]

- ・左利きの子供が多いのにびっくりした。
- ・学校評価については、児童・保護者・教員が感じている課題が同じであることが結果から分かるので、来年度の課題は明確であると思う。先生方の評価や目標設定がしやすいのではないかな？

[学校評議員]

- ・運動会の開催の仕方については、地域の人数の差が大きくなってきたことも踏まえ、考え直していかなければならない。新年度の実行委員会で、学校から提案していただき、前向きに考えていくことが大切。
- ・子供たちが元気よく通学する姿が見られてうれしいという声が地域から聞かれる。

[学校評議員]

- ・子供を育てるのは地域全体。保護者・学校・地域・児童館等がそれぞれの立場で、子供たちを育てていくことにどう関わっていくか。ベクトルを同じくして、それぞれの役割を果たせると良い。
- ・授業がよかった。特に1年生の授業は、黒板に1時間の授業の流れが書いてあり、見通しを持ちやすいので良い。

[学校関係者評価委員]

- ・根白石地区は、転入生も増えている。中には、子供会への参加を断っている家庭も出てきている。新しい方々が増えてくると、保護者の方々の考えも様々であるが、根白石の良さを生かし、子供たちのために学校と協力して進めていけると良い。
- ・芋煮は、みんなで協力して、同じ方向に向いていければ良いと思う。

[学校関係者評価委員]

- ・学芸会の芋煮について、様々な考えがあるが、地域と共に歩む学校ということから考えていくと、「芋煮」を行う意義は大きい。「芋煮」が行えるのは、根小のよさである。「芋煮」があることで、いつもお世話になっている地域の方に感謝の気持ちも伝えることができる。子供たちも芋煮を楽しみにしている。保護者でできる方に協力していただけるとありがたい。